

こしわ 越王だより

家庭数配付

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



<http://www.makikita.city-niigata.ed.jp/>

令和5年1月12日 No. 12



主体的に考え、行動する力

校長 上澤田 誠

あけましておめでとうございます。巻北小学校教職員一同、本年も子どもたちのために精一杯取り組んでまいりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

12月に、4年生の子どもたちが西蒲区の鈴木区長さんをお招きして、自分たちが学んだことについて発表をする機会がありました。

子どもたちは3年生の時に、自分たちが住む街について調べ、そのよさを学校内や地域に向けて様々な形で発信してきました。4年生になってからは福祉について学び、障がいのある人やお年寄りなど、みんなが住みやすい社会を作っていくことの大切さについて学んできました。その視点から改めて自分たちの街の様子を調べてみると、これまで分からなかった様々な工夫や配慮がなされていることに気がきます。そして、「もっとこうなるといいなあ」という思いをもつようになりました。その思いを区長さんが聞いてくださるというのです。

子どもたちは少し緊張しながらも、一生懸命発表をしました。様々なところで「人にやさしい配慮」がされていて自分たちの街をもっと好きになったこと、そして、こんな工夫がされるといいなあと思うことを区長さんに向けてお話ししました。

鈴木区長さんからは、子どもたちの気付きや思いを大変褒めていただきました。さらに、子どもたちの思いを受けた具体的な提案までお話しくささいました。きっと、子どもたちにとって、大きな自信につながる大変貴重な経験になったことと思います。

巻北小学校では、「主体的に考え、行動する力」を育むことを大切にしています。自ら問題意識をもち、様々な人と協力しながら解決方法を一緒に考え行動していく力は、これからの社会を生きていく上で欠かせない資質・能力であると言われていています。授業は勿論のこと、学校生活の様々な場面の中でも、あるいは家庭や地域の生活の中でも、そういった力を育むチャンスはたくさんあります。とりわけ、自分たちの行動が社会の中で認められる経験は、子どもの主体性や行動力を育む上で大きな支えとなっていくことでしょう。幸いにもこの地域には、鈴木区長さんのように、子どもたちの成長を温かく見守りご支援くださる方がたくさんいらっしゃいます。

今年も、皆様のお力をお借りしながら、「主体的に考え、行動する力」を北っ子にしっかりと育んでいきたいと願っています。

生活科・総合的な学習の時間の紹介

	テーマ	活動の様子
1年	<p>たのしいあきいっぱい</p> 	<p>1年生の生活科は、身近な自然や人とのかかわりを通して学習を進めています。2年生と一緒に上堰潟公園に行き、生き物探しや木の実集めをして、秋の自然に親しむ活動を行いました。学校のグラウンドやどんぐりの森でも、木の葉やどんぐりなどの「あきのたからもの」を集め、飾りやおもちゃを作って楽しみました。どんぐり拾いでは、園児さんと交流することができました。</p>
2年	<p>もっとなかよしまちたんけん</p> 	<p>地域の人々に親しみや愛着をもつことを目標として、主に商店街のお店15店にご協力いただき、町探検に行きました。お店に売っている品物や、働いている人の仕事の内容について質問し、話を聞いたりお店の中を見学したりしました。見つけたことを紹介する発表会を行い、新たな発見や、おうちの人と一緒に行きたいという思いをもち、地域のよさについて学ぶことができました。</p>
3年	<p>鯛車でもり上げ鯛</p> 	<p>3年生は、前期に巻地域のことを学習してきました。のぞきからくりや鯛車商店街、地域の学習を進めていく中で、巻にはたくさんの素晴らしいものがあることを学びました。後期は、巻地域のよさを発信するために、子どもたちから発案された「鯛車花火を打ち上げて、巻地域を活気づけよう！」の活動を進めてきました。現在、打ち上げ費用を募るための募金活動を行っています。地域の皆様のご協力のおかげで、来年の巻夏祭りに打ち上げられそうです。</p>
4年	<p>みんなにやさしいまちを 目指して</p> 	<p>巻の街を誰にとっても住みやすい街にするために、どんなことができるかを考えました。体の不自由な方の講話を聞いたり、高齢者の疑似体験をしたり、街に出て改善点やよい点を見付けたりする活動を行いました。活動後には、自分たちの考えた街づくりについて西蒲区長さんに提案したり、商店街や学校での啓発活動を行ったりしました。自分たちの住む街を、いろいろな立場に立って見つめ直し、さらによくしていきたいという思いをもちました。</p>
5年	<p>目指せ！日本一の巻北米</p> 	<p>米作りの先生である小林さんと地域の農家やJAの方々から協力をいただきながら「新之助」を収穫しました。また、稲わらを利用して、「わらリース」を作りました。巻北米WEEKでは、動画やポスターで、学校田で取り組んだ活動や米の消費量を上げるための取組み等を全校に紹介しました。そして、「新之助」を配付し、おいしく食べてもらえるように呼び掛けました。5年生が「米」で学んだことを全校に発信しました。</p>
6年	<p>夢に向かってはばたこう</p> 	<p>自分の未来について考えるため、地域から多くのゲストティーチャーをお招きして学習を進めています。鈴木西蒲区長様、ライフパートナー かくだ山の岩崎様のご講演、巻商工会青年部8社の職業体験は貴重な時間となりました。また、おうちの方へのインタビューも興味深かったようです。今後は、これまでの学習をもとに自分自身を見つめ、各自が未来図を作成する活動へとつなげていきます。</p>

